

日本感染症学会が実施した 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対する アンケート調査について

今もなおCOVID-19は猛威をふるい、感染の波が繰り返される中、医療施設や高齢者施設におけるCOVID-19の施設内伝播が度々報道されています。医療の現場では、様々な事例から感染症対策を見直し、より一層の改善に取り組まれています。

COVID-19 医療現場の厳しい状況

国内で初めてCOVID-19が確認されてから、1年半が経過しようとしています。感染の波は第4波に突入し、4月25日には3度目となる「緊急事態宣言」が発令されました(グラフ)。

また、感染の拡大は、これまでは首都圏や大都市周辺地域が中心でしたが、いまは全国の各地域まで広がり、医療体制ひっ迫の状況が、日々の病床使用率とともに報道されています。

日本感染症学会からは、COVID-19に関する最新情報を発信するとともに、COVID-19のこれまでの経験を今後活かすことが必要であることもアナウンスされています。医療施設では、自施設の感染対策マニユ

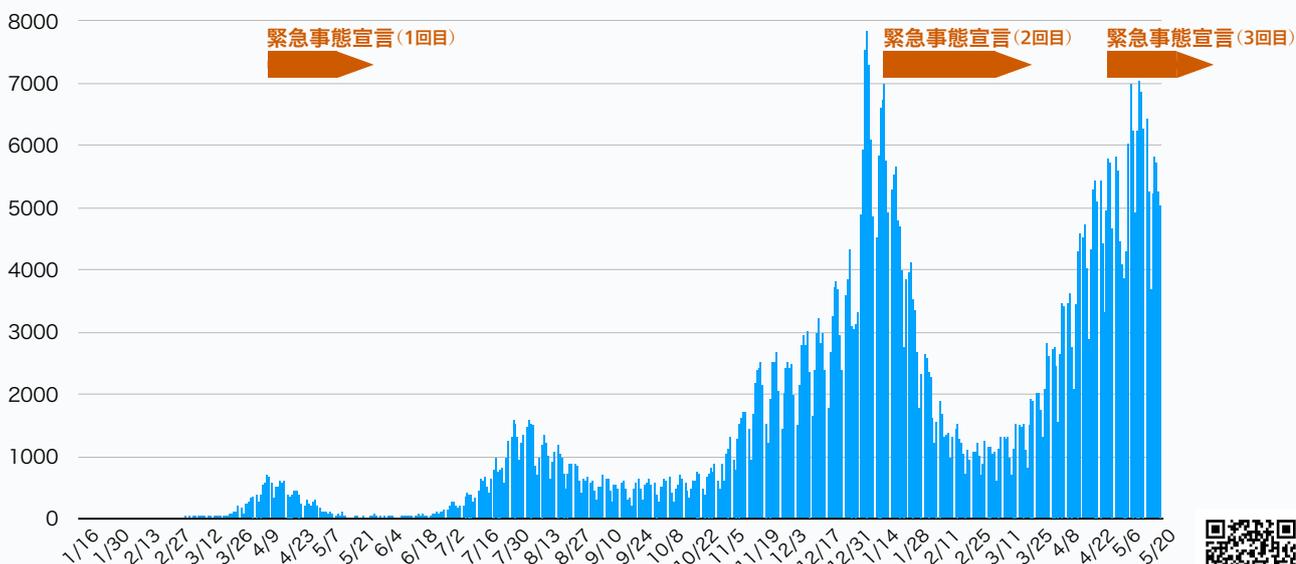
アル等に沿って感染症対策を進められる中で、変異株等の新たな状況に備えるため、さらなる見直しが行われているようです。

COVID-19 施設内感染アンケート調査

日本感染症学会は、COVID-19による医療施設内感染を可能な限り防ぐ目的から、医療施設に対し実態調査*を行い、その結果を公開しています。調査では、調査に応じた各施設の現状を確認(右図)する内容のほか、施設内伝播事例を経験した施設に対しての質問も行われています。

* COVID-19 施設内感染アンケート調査(2021年2月2日)
実施期間:2020年11月24日~12月18日 回答者数:263人

グラフ) 新型コロナウイルス感染症 国内の陽性者数(令和3年5月19日現在)



出所:厚生労働省HP(新型コロナウイルス感染症について/国内の発生状況など)



アンケート調査施設 現状チェック(概要)

図)

感染管理体制やシステムの整備に関するもの

業務継続計画の作成の有無
対策チームや指揮命令系統の明文化
COVID-19対応マニュアルの作成・更新

施設内のスタッフの管理や教育に関するもの

施設内での情報共有方法の構築と周知
スタッフが相談しやすい環境づくり
職員の体調不良時の欠勤体制の整備
スタッフの発熱等の健康管理の整備
COVID-19全般、感染管理に関する教育

患者対応に関するもの

患者相談窓口の開設や対応マニュアル作成
疑い症例や確定例発生時の手順の確認

環境整備に関するもの

密を避けるための施設の使用法の検討や導入
面会制限・入館者管理の実施

施設内伝播があった施設で罹患した職種

アンケート調査に回答した施設のうち、施設内伝播を経験した施設に対しては、その当時の状況について調査しています。施設で罹患された職種については、看護師が36人で最も多く、次いで患者32人、さらに医師14人と続いています。

施設内伝播の要因(推定)

施設内伝播の要因については、患者と職員間、患者間、職員間や、患者の転室・転棟などが多く回答されており、人を介する移動に起因して発生していることが多く示されています。

上記のほかにも、職員のマスク装着の不徹底、患者のマスク装着の不徹底とともに、手指衛生の不徹底、個人用防護具の不足が挙げられています。

個人用防護具(PPE)や消毒剤の確保

昨年 の第1波の際、最初に発生した問題は、感染対策に必要な医療物資の不足でした。世界的に需要が急増した個人用防護具や消毒薬が不足し、医療従事者が安心して診療や看護ができない状況が続きました。その状況をふまえ、現在では厚生労働省の主導で医療物資が供給されているほか、自治体、各医療施設が独自に確保に動く状況が生まれています。

医療施設や介護施設等では、人と人が接することを止めることができません。しかし、個人用防護具の備えやマスク装着・手指衛生の徹底などは、平時から備え、定期教育を徹底することでリスク低減につながると考えられます。

改正医療法が成立

新型コロナウイルス感染症禍で病床のひっ迫が続く問題を踏まえ、地域の医療体制を拡充させることを目的に「改正医療法」が5月21日に成立しました。

同法では、病院の勤務医などの働き方改革のほか、救急や災害時など、医療提供体制を定める医療計画の中に、新たに感染症対策を追加することが定められました。

医療計画は都道府県が策定し、感染症の流行に対応できる医療機関や病床、専門人材の確保を平時から求めるだけでなく、マスクや防護服などの医療資材の備蓄等を盛り込むよう求めています。

**PPEや感染対策用ブースの
製品一例を紹介しています。**
(リスクレベルに応じた形で掲載)

次ページ→

感染リスクに応じた備え

日本環境感染学会が発行する「新型コロナウイルス感染症の院内・施設内感染対策チェックリスト」を参考に、医療機関で使用されている興研製・感染対策製品をまとめました。

シーン	場所	感染対策(製品例)
危険性の高い エアロゾル 産生手技に	ICU 救急科 麻酔科	気管挿管・抜管用 陰圧フード DANTECT for Ti (Tracheal intubation) 
		電動ファン付き 呼吸用保護具 (PAPR) BL-321H 
	感染症病床 救助隊 保健所 検疫所 ワクチン接種会場	N95/DS2 マスク   ハイラック350 ハイラック専用フェイス シールド ハイシールド
患者の移動に	院内での検査 院内での転室・転棟 転院・帰宅時	感染患者専用マスク  ハイラックうつさんぞ
病原体検査時に	検査機関	病原体検査用 陰圧BOX DANTECT for Pt (Pathogen testing) 

最前線の医療従事者を守るために PPEは備えておくだけでなく、定期的な着用訓練、教育が必要です。

適切なPPEの**選定と確保**



PPE **教育訓練**

製品ポイント(PPEについては使用にあたっての留意点を記載)

フロア搭載。フード内部を「陰圧化」してマイクロ飛沫の発散を抑制

- (ポイント)
- ・交換用フィルタ(国内生産品) 0.15 μ m~0.25 μ mを99.97%以上捕集(国家検定規格「電動ファン付き呼吸用保護具PL3」と同等)
 - ・本体、フィルタは、医療現場で推奨されているディスポーザブル仕様
 - ・コンパクトな折り畳みで備蓄性にも優れます
 - ・東邦大学との共同開発で安全かつ効率的に作業できる構造を実現

フロアを内蔵。マスク面体内部を「陽圧」にしてマイクロ飛沫の漏れ込みを防止

- (ポイント)
- ・長時間装着に備え、着用者の身体負担を考慮し、軽量化を実現
 - ・交換用フィルタ(国内生産品) 0.15 μ m~0.25 μ mを99.97%以上捕集(国家検定規格「電動ファン付き呼吸用保護具PL3」)
 - ・着用して呼吸を開始すると自動送風開始
- (留意点)
- ・着け方/外し方を訓練し、実際の動作や動線をシミュレーションしておく
 - ・充電式の場合は電池を充電しておく
 - ・交換用フィルタも準備する
 - ・使用後は取扱説明書にしたがって消毒する

米国N95、国内DS2の両規格に合格。マスク内側の「FFリップ」でフィット向上

- (ポイント)
- ・フィットテストで漏れの少ないマスクを選ぶ
 - ・いざとなったら使えるように保存年数の長いものを選択する
- (留意点)
- ・施設毎に使用量を把握したうえで相応の必要量を備蓄しておく
[使用目安:500~3,000枚/月*1
*1 日本医師会「全国自治体病院協議会」の調査結果を参照し当社が作成]
 - ・ひもの長さ調節でしっかり顔にフィットさせる
 - ・定期的に着脱訓練を行う
 - ・着け方/外し方を「PPE 装脱着ゾーン」に掲示する



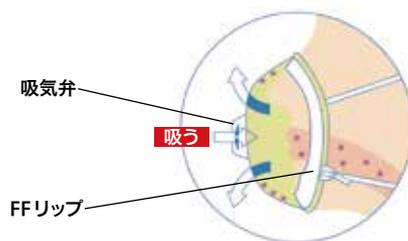
FFリップ



マスクのフィットテスト(定量的)

患者さんの呼気からのマイクロ飛沫の発散を抑制

- (ポイント)
- ・ハイラック350と同様にマスク内側の「FFリップ」でフィット向上
 - ・マスク正面に「吸気弁」を備え、息しやすい構造
 - ・結核病棟を持つ医療機関の院内感染対策として活用実績あり
 - ・患者さん用とわかりやすいカラー採用
- (留意点)
- ・N95/DS2マスクとしては使用できない
 - ・ひもの長さ調節でしっかり顔にフィットさせる



フロアを搭載。BOX内部を「陰圧化」してマイクロ飛沫の発散を抑制

- (ポイント)
- ・交換用フィルタ(国内生産品) 0.15 μ m~0.25 μ mを99.97%以上捕集(国家検定規格「電動ファン付き呼吸用保護具PL3」と同等)
 - ・バイオハザード対策用クラスIキャビネットと同等の構造・性能*2 *2 清浄空気を必要とする作業に用いる製品ではありません
 - ・ディスポーザブル仕様の本体・フィルタ
 - ・省スペースで設置・保管ができる
 - ・反応カセット収納セル付トレイ(交換可能)
 - ・東邦大学との共同開発で安全かつ効率的に作業できる構造を実現

ご案内

フィットテスト研究会

フィットテスト研究会では「フィットテストインストラクター養成講座」を通じて、働く人の健康を組織的に守る仕組みづくりと、呼吸器を介する感染症の予防策を推進しています。既に1,000人以上のフィットテストインストラクターが医療現場で活躍しています。



養成講座では、呼吸用防護具の専門知識と技術を習得できます。

- カリキュラム
- 呼吸器感染する感染症と感染経路
 - 呼吸用防護具の種類と規格
 - N95レスピレーターの正しい使用法とフィットテスト